

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	株式会社東京ビッグサイト 施設安全部施設管理課
	電 話 番 号 等	03-5530-1116
公表の 担当部署	名 称	株式会社東京ビッグサイト 施設安全部施設管理課
	電 話 番 号 等	03-5530-1116

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス：	
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所：	株式会社東京ビッグサイト 事務室
		所在地：	東京都江東区有明三丁目11番1号
		閲覧可能時間	10:00～17:00 (平日)
	冊 子	冊子名：	
入手方法：			
そ の 他	アドレス：		

(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2009 年度	事業所の使用開始年月日	1995 年 10 月 1 日
特定地球温暖化対策事業所	2009 年度		

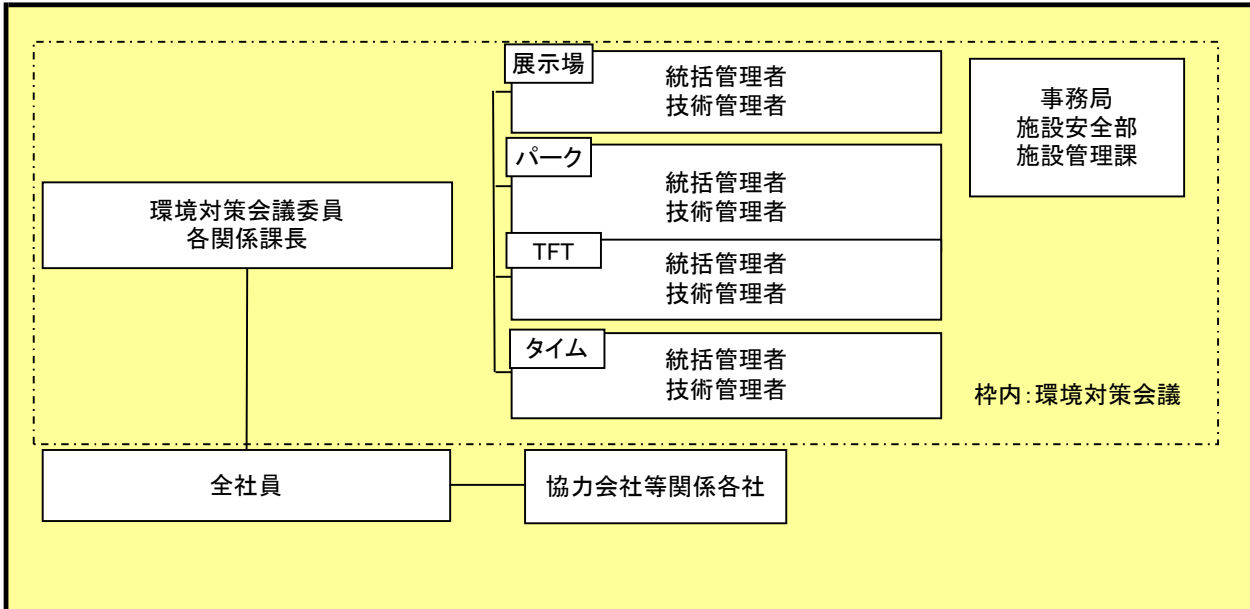
2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

東京国際展示場は高度な省エネ技術を投入して建築された施設であり、その運用においても年々改良を重ね、環境に配慮した維持管理を行っているところである。今後は以下の3点を基本に環境対策をさらに進めていくこととした。

- 1 地球温暖化対策について省エネルギーにその主眼を置き、積極的に取り組んでいく。
- 2 従業員に対する環境意識啓発活動を行う。
- 3 講じた運用対策について、確実に実施されているかをチェックする体制を維持していく。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：
太陽光発電設備の導入（2019年6月）

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	省エネルギー機器への更新や設備運用の最適化により、総量削減義務(25%見込み)以上の削減を目指す。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	現在の削減計画期間での削減量の維持を目標とする。		
削減義務の概要	基準排出量	33,906 t (二酸化炭素換算) /年	削減義務率の区分	I - 2
	排出上限量 (削減義務期間合計)	127,150 t (二酸化炭素換算)	平均削減義務率	25%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2025 年度から 2029 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	省エネルギー機器への更新や設備運用の最適化により、総量削減義務以上の削減を目指す。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	現在の削減計画期間での削減量の維持を目標とする。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特定温室効果ガス (エネルギー起源CO ₂)		12,222	24,366			
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)					
	メタン (CH ₄)	0	0			
	一酸化二窒素 (N ₂ O)	0	0			
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)					
	パーフルオロカーボン (PFC)					
	六ふっ化いおう (SF ₆)					
	三ふっ化窒素 (NF ₃)					
上水・下水		80	81			
合計		12,303	24,448			

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	38.6	76.9			

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ 2005年度、2006年度、2007年度 ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 2
----------	-------

(4) 削減義務期間

2020 年度から	2024 年度まで
-----------	-----------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)	33,906	33,906	33,906	33,906	33,906	169,530
	削減義務率 (B)	25.00%	25.00%	25.00%	25.00%	25.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						127,150
	削減義務量 (D = Σ (A × B))						42,380
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)	12,222	24,366				36,588
	排出削減量 (F = A - E)	21,684	9,540				31,224

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	<p>2020年度は、東展示棟及び東新展示棟をオリンピック・パラリンピック組織委員会に貸出し、展示ホール内空調及び照明利用率が低かったため、CO2排出量が軽減された。更に新型コロナウイルスの感染拡大により、ホールの運用が著しく低下した。</p> <p>それに対し、2021年度はオリンピック・パラリンピックの開催に伴い、貸出エリアが24時間稼働と、エネルギーを多く使用したため、昨年度と比較して排出量が増加した。</p>		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称			
			【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】		
1	120300	12_運転管理及び効率管理	空調機ファンのインバーター化 (適正風量制御を行い消費電力削減)	2012年度	
2	120400	12_補機の運転管理	空調用ポンプのインバーター化 (適正流量制御を行い消費電力削減)	2012年度	
3	120400	12_補機の運転管理	駐車場換気ファンのインバーター化 (適正風量制御を行い消費電力削減)	2012年度	
4	120400	12_補機の運転管理	空調機CO2制御適用機器の拡大 (外気負荷の低減)	2012年度	
5	120500	12_熱搬送設備の運転管理	夏季のファンコイル系統への温水停止 (ミキシングロス防止)	2010年度	
6	130100	13_空気調和の管理	省エネ型Vベルトの導入 (消費電力削減)	2014年度	
7	130300	13_換気設備の運転管理	駐車場換気設備CO2制御での運転時間縮小 (消費電力低減)	2009年度	
8	150200	15_照明設備の運用管理	804・805会議室照明LED化	2009年度	
9	150200	15_照明設備の運用管理	誘導灯のLED化 (地下駐車場及び主催者事務室・商談室)	2009年度	
10	150200	15_照明設備の運用管理	照明の高効率化 (地下駐車場及び主催者事務室・商談室)	2009年度	
11	150200	15_照明設備の運用管理	照明の適正化-低出力に変更- (西展示棟1~4ホール)	2008年度	
12	150200	15_照明設備の運用管理	照明の高効率化 (アトリウム入口)	2008年度	
13	160100	16_昇降機の運転管理	エスカレーターへの人感センサ導入	2011年度	
14	160200	16_建物の省エネルギー	大型映像装置・表示装置LED化	2008年度	
15	120400	12_補機の運転管理	夏季の温水一次ポンプ全停止運用	2011年度	
16	130300	13_換気設備の運転管理	東展示棟地下駐車場給排気ファン運転時間短縮	2015年度	
17	130100	13_空気調和の管理	夏期・冬期展示ホール予冷・予熱運転方法見直し	2015年度	
18	160200	16_建物の省エネルギー	西2ホール高天井照明LED化	2017年度	
19	150200	15_照明設備の運用管理	北コンコース、連絡ブリッジ、南コンコース照明点灯時間変更	2017年度	
20	160200	16_建物の省エネルギー	西1、3、4ホール、エントランス、ガレリア高天井照明LED化	2018年度	
21	160200	16_建物の省エネルギー	南展示棟新設に伴う空調設備インバーター導入	2019年度	
22	160200	16_建物の省エネルギー	南展示棟新設に伴うLED照明導入	2019年度	
			(再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況)		
71	500100	50_再生可能エネルギーの設備導入	南展示棟太陽光発電設備導入	2019年度	
72					
73					
			【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】		
81					
82					
83					
			【排出量取引の計画及び実施の状況】		
91					
92					
93					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

東京国際展示場は高度な省エネ技術を投入して建築された施設であり、その運用においても年々改良を重ね、環境に配慮した維持管理を行っているところである。

地球温暖化対策は、企業の社会的責任の一つとして率先して取り組むべき重要な課題であると考え、今後は以下の4点を基本に環境対策をさらに進めていくこととした。

- 1 省エネの取組を推進する。
省エネ設備導入としては、ダウンライトのLED化・ガラス屋根の反射塗装・空調機ファンのインバーター化・空調用ポンプのインバーター化・駐車場換気ファンのインバーター化を施工した。
また、高天井照明のLED化を施工している。
- 2 従業員に対する環境意識啓発活動を行う。
環境対策会議を実施し、部署ごとの省エネ対策について検討を行った。
また、同会議でエネルギー使用量や、月間のCO2排出量のデータを発表することなどのより従業員の環境意識啓発を行った。
- 3 講じた運用対策について、確実に実施されているかをチェックする体制を維持していく。
実施済みの運用対策について確実に実施されているかを日報等で確認を行った。
運用対策は下記の通り(抜粋)
 - ・空調温度の適正化
 - ・駐車場換気設備のCO2制御
 - ・温水一次ポンプの夏季運転停止
- 4 再エネの取組みを推進する。
再エネ設備の導入として、南展示棟新築時に、太陽光発電設備を施工した。